

知りたかった！ ガウディ  
未完の教会建築プロジェクト

# 創造と神秘の サグラダファミリア

まちなか夜の映画会

上映会「創造と神秘のサグラダファミリア」

4/29 (金)

(昼の部会場) 郡中まち元気サロン来良夢

※会場の広さの都合上、昼の部は20名様限定(前売りのみ)とさせていただきます。  
小学生は限定5名です。整理券(無料)をお渡しします。

(昼の部) 午後1時半開演

(夜の部会場) 愛媛信用金庫郡中支店駐車場

昼の部(前売りのみ) 1000円(小学生は人数をお知らせください)

夜の部(前売り) 1500円、当日1600円・小学生以下は無料!

チケット販売所: 町家事務所・トータルファッションタニカ・武智写真館他

(夜の部) 午後5時半開場

暗くなったら始めます

※夜の部はバエリア付です  
なくなり次第終了とさせていただきます。

※雨天時でも上映します。雨具のご用意をお願いします。豪雨、雷雨、濃霧の時は中止します。

【主催】: 来良夢シネマ【共催】: 株式会社まちづくり郡中・郡中まち元気推進協議会・キョロキョロ隊・建築士会伊予支部

# あとたった11年で完成?!

(2015年現在)

## 2026年、ガウディ没後100周年に 完成すると発表された世紀の一大プロジェクト!

スペイン、カタルーニャ州バルセロナ。2005年に世界遺産に登録され、年間3百万人を超える世界中からの観光客を魅了するバルセロナのシンボル、サグラダ・ファミリア。これまで目にしたことのないその裏側を、現在建設中である「キリストの塔」の工事現場、技術者たちのアトリエや設計室など、スタッフしか入れない内部の映像と関係者のインタビューにより描きだす。

### みどころ

- ▲ スタッフしか入れない内部の映像
- ▲ 建築関係者らのインタビュー

アントニ・ガウディ

「神は急いでおられない。  
焦らなくていい」

Portrait of Antoni Gaudí  
Institut Municipal de Museus  
de Reus, reg. number 1807

ジョルディ・ボネット  
(主任建築家)

「ガウディはひらめきを得るために、カタルーニャ人が大好きな野生のキノコを食べたという。キノコが与える幻覚が、ファンタジーを見せたとかそれはデマだ。フリーメイソンのシンボルを使ったという説も全くのデマだ」

ジョアン・リゴール  
(サグラダ・ファミリア・ファンデーション元会長)

「死ぬまでに完成しないと判断したガウディは、驚くべきことにファサードから造り始めた。『こうしておけば引き継いだ世代が、何をすべきか分かるだろう』と」

マーク・バーリー  
(建築家)

「設計にあたっては、通常建築で使用するCADソフトではなく、飛行機の設計者用に開発されたソフトを使用した。サグラダ・ファミリアの建築においては3Dからイメージを把握することが大切だ」

外尾悦郎  
(彫刻家)

「ガウディの模型の破片を基に、模型全体を復元した。ガウディの模型やピントが仕事の助けになる。ガウディがどんな線を思い描き何を求めたのか、私は毎分毎秒間い続けている」

ジョセップ・マリア・スピラックス  
(彫刻家)

「『受難のファサード』を任せたいと言われた時、あまりにも思いつけなくて心から驚いた。ガウディを踏襲するのではなく自分が生きる時代に根ざした表現を求めするためにガウディから離れて考えることにした」